

ジョン・ノイマイヤー振付 バレエ「椿姫」

140316

| 幕 | 場 | 場面 | ショパンの作品 | 分 | 内容 | 主な登場人物 | | | | 見どころ |
|---------|-----------------|-------------------|---------------------------------------|---|--|--------|------|--------|--------|------------------|
| プロローグ5分 | 1 | アルマンの回想 | ピアノソナタ第3番 第3楽章 | 5 | 生前のマルグリットと交友のあった人たちが、彼女の遺品を見に来ている。アルマンは、記憶をたどりながら、 マルグリットとの愛の日々を回想する。 | アルマン | | | 公爵 | |
| 第一幕 35分 | 1 | アルマンと出会うマルグリット | ピアノ協奏曲第2番 第1楽章 | 10 | マルグリットは、伯爵とバレエ「マノン・レスコー」を観に来ている。 居合わせたアルマンは、マルグリットが高級娼婦であることを知りながら、惹かれている。 マルグリットは「マノン」を、アルマンは「デ・グリュウ」を、それぞれ自分と重ね合わせながら、バレエを観ている。 | マルグリット | アルマン | マノン | デ・グリュウ | |
| | 15 | | | | | | | | | |
| | 2 | | | 5 | マルグリットは観劇後、友人達を自宅に招き、アルマンも招待する。マルグリットは、趣味が悪く好きになれない伯爵を、追い返す。 | マルグリット | アルマン | | | |
| | 3 | 告白されるマルグリット | ピアノ協奏曲第2番 第2楽章 | 10 | アルマンは、別室に引き下がるマルグリットを追いかけ、愛を告白する。マルグリットは、その誠実さに感激し、パトロンとは異なる存在として付き合うことに決め、愛の「喜び」のパド・ドゥを踊る。 | マルグリット | アルマン | | | 「喜び」の パド・ドゥ |
| 4 | | ピアノ協奏曲第2番 第3楽章 | 10 | しかし、マルグリットは、アルマンのことを気に留めながらも、それが仕事でもあり、相変わらず奔放な生活を送り続ける。 | マルグリット | アルマン | | 公爵 | | |
| 第二幕 40分 | 1 | 思いやりの愛に生きるマルグリット | ワルツ作品34-1 エコセーズ作品72-3 ワルツ作品34-3 | 10 | マルグリットとアルマンは、友人たちとワルツを楽しんでいる。その様子を見た公爵は嫉妬し激怒する。しかし、マルグリットは、貰った宝石を叩き返し、パトロンである公爵と別れる事を選ぶ。 | マルグリット | アルマン | | 公爵 | |
| | 20 | | | | | | | | | |
| | 2 | | ピアノソナタ第3番 第3楽章 | 10 | マルグリットは、結核のために残り少ない人生をアルマンに捧げることにした。マルグリットとアルマンは、清らかな気持ちで「喜び」のパド・ドゥを踊る。 | マルグリット | アルマン | | | 「喜び」の パド・ドゥ |
| | 3 | アルマンに秘密を抱えるマルグリット | 前奏曲第2番 | 13 | アルマンの父デュヴァルが、マルグリットに会いにくる。 | マルグリット | | マノン | デュヴァル | デュヴァルから別れるよう言われる |
| | | | 前奏曲第17番 | | デュヴァルから、アルマンと別れるよう言われ、やむを得ず承諾する。 | | | | | |
| | | | 前奏曲第15番 | | 辛い気持ちを埋めるために、デュヴァルに自分の娘のように抱いてもらう。 | | | | | |
| 4 | | ピアノソナタ第3番 第3楽章 | 20 | 別れる理由をアルマンに伝えないことを、デュヴァルと約束した。 戻ってきたアルマンと楽しく過ごすのが、置き手紙を書くために外出させる。 | マルグリット | アルマン | | | | |
| | | 前奏曲第2番 | 7 | アルマンが戻ってくるが、マルグリットはすでに去り、手紙が残っていた。 | | | | | | |
| | | 前奏曲第24番 | | 事情を知らないアルマンは、置き手紙を読みマルグリットを追いパリに行く。しかし、アルマンは、公爵に愛されるマルグリットを見て、絶望する。 | | | | | | |
| 第三幕 45分 | 1 | 嫉妬するマルグリット | 大幻想曲作品13 | 8 | マルグリットは、シャンゼリゼを散歩している時に、アルマンに出会う。アルマンが、他の女性にわざと親しげにするので、傷つけられる。 | マルグリット | アルマン | | | |
| | | | 18 | | | | | | | |
| | | | バラード第1番 | 10 | 嫉妬と忍耐の感情を抑えきれないマルグリットは、アルマンに会いに行く。二人は抑えることができず深く愛し合い、愛に「苦悩」するパド・ドゥを踊る。 | マルグリット | アルマン | | | 「苦悩」する パド・ドゥ |
| | 2 | 傷つけられ別れるマルグリット | アンダンテ・スピアナート作品22 | 6 | マルグリットは、デュヴァルとの約束を思い出し、マノンとデ・グリュウのようにならないよう、黙って帰ってしまう。何も知らないアルマンは不信を感じ怒る。 | マルグリット | アルマン | マノン | デ・グリュウ | |
| | | | 14 | | | | | | | |
| | | 大ポロネーズ作品22 | 8 | マルグリットは、舞踏会でアルマンに再会するが、先日の一夜の愛の代金として 札束を渡される。 マルグリットは、 忍耐の限界を超えて傷つき倒れる。 | マルグリット | アルマン | | 公爵 | | |
| 3 | その後のマルグリットそして、死 | ピアノ協奏曲第1番 第2楽章 | 10 | アルマンは、マルグリットが書き残した日記を小間使いから貰って読む。そこには、アルマンと別れた理由と、その後のマルグリットの惨めな生活と、死を目前にしたアルマンに対する想いが書き残されていた。 | マルグリット | アルマン | マノン | デ・グリュウ | | プロローグの 場面に戻る |
| | | 13 | | | | | | | | |
| | | ピアノソナタ第3番 第3楽章 | 3 | マノンは、デ・グリュウに見守られながら死んだが、 マルグリットは、アルマンに看取られることなく一人寂しく死んでいった。 | マルグリット | アルマン | | | | |

(注)紙の音がするので、開幕中は、このA4紙をしまってください。